



朝霞地区医師会 ^{つわの}津和野 ^{しんいち}伸一
☎464-4666

食道がんは高齢の男性に多い病気です。2018年の罹患率は10万人中20.5人で、日本人のがんの中では比較的めずらしいですが、少しずつ増え続けており、今後もその傾向が続くと予想されています。

食道がんにはおおまかに扁平上皮がんと腺がんという2種類のがんがあります。

日本では9割が扁平上皮がんで、食道の中でも胸の真ん中あたりに発生しやすい傾向があります。飲酒やたばこが危険因子で、片方で3倍、両方だと量に応じて、数十倍にまでリスクが上昇することが分かっています。特に、お酒を飲むとすぐに顔が赤くなる人＝本来の体質としてお酒が弱い人（昔飲みはじめた頃には、すぐに赤くなっていた人も）は要注意です。

また、食生活が欧米化することで、腺がんも増えてきています。食道の下の方（食道と胃の境界あたり）に発生することが多く、治療の方法が異なります。肥満や逆流性食道炎、たばこが危険因子とされています。

一方で、食道がんの予防因子としては、がんの一般的な予防と同様、禁煙、節酒、野菜、果物、運動に効果があることが分かっており、禁酒や禁煙で半数以上の食道がんが減らせるのではないかとされています。

食道がんも他のがんと同様、発生早期は無症状ですが、進行とともに食事のつかえ感、体重減少、声のかすれ、咳などの症状が出現してきます。症状が出現したときには相当進行している可能性が高いため、無症状の間に発見することが大事です。

早期発見には、内視鏡検査や造影検査が有用です。食道がんによる粘膜の色調や凹凸の変化が出てきますので、内視鏡ではこれらを捉えることができます。それでも初期の病変を見つけ出すことは難しいのですが、特殊な波長の光を使って観察したり、表面を何十倍にまで拡大して観察したり、コードという薬を内視鏡で食道内に散布して、がんを発見していきます。また、近年では、AIによる診断補助の開発も進んできてい

ます。

食道がんのほとんどは、食道の粘膜（内腔側）から発生し、成長の過程で、次第に深く入り込んでいきます。これにより、リンパ節や、血行性（肺、肝臓など）に転移を起こす可能性がでてきます。

粘膜の表層にとどまるようなごく浅いがんでは、ほとんど転移をおこさないことが分かっており、この段階であれば内視鏡で切除して治療することができます。深さの診断は細かくなかなか簡単ではありません。超音波内視鏡を行うこともあります。

がんが深く入り込んでくると、転移の可能性が出てくるため、手術、抗がん剤、放射線を組み合わせて治療していきます。

手術は、大きく胸やお腹を開けたりせず、胸腔鏡や腹腔鏡により小さな傷で行われることが増えてきました。首やお腹からトンネルを掘るようにして食道を切除する縦隔鏡手術が行われることもあります。手術後に順調に退院できるよう、術前からの取り組みも多く行われています。

抗がん剤は、効果と副作用とのバランスをとりながら継続して行っていく治療です。ここ数年で使われるようになってきた免疫治療は、特殊な副作用に注意する必要がある一方で、副作用がほとんどない場合や、長期間効果を発揮する場合もあるため、食道がんの治療が様変わりする力が期待されています。

放射線は、扁平上皮がんに対して用いられるのが一般的です。技術、装置の進歩により、周囲の臓器を避けて、がん部に高い線量が照射できるようになってきており、副作用を軽くしながらも高い効果が期待できる治療です。

これらを組み合わせて治療することで、ステージⅣの食道がんでも治療することもあります。進行状況に応じて適切な治療を選択しながら、諦めないで粘り強く治療することが大切です。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)
10	2	朝霞 村山クリニック	内、循内	471-1636	朝霞	はねだクリニック	内、外、消内、肛、放	469-2139
	9	新座 大塚産婦人科 小児科医院	産婦、小	479-7802	朝霞	朝霞あおば台 整形外科	整外、リハ	424-2841
	10	新座 坂本医院	内	481-4839	朝霞	北朝霞整形外科	整外、内、リウ、リハ	474-7711
	16	朝霞 くらだ内科 クリニック	内、消内	450-7711	和光	和光駅前クリニック	外、内、小、整外、消内、肛、リハ	460-3466
	23	志木 たで内科クリニック	内、消内、アレ、糖内	485-2600	新座	城西内科クリニック	内、呼内、糖内	(042) 421-9321
	30	新座 新座中央通り診療所	内、小	473-3331	朝霞	根本整形外科	整外	467-4154

日曜日、祝日に開局している薬局

下のコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

救急医療のお問い合わせ

●埼玉県南西部消防局 ☎460-0123

●埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または☎824-4199(ダイヤル回線、IP電話、PHS)